

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年4月23日(2024.4.23)

【公開番号】特開2022-143120(P2022-143120A)

【公開日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【年通号数】公開公報(特許)2022-181

【出願番号】特願2021-43462(P2021-43462)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月15日(2024.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件が成立したことにもとづいて可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

非特別状態と該非特別状態よりも前記始動条件が成立しやすい特別状態とに制御可能な状態制御手段と、

前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

前記決定手段の決定結果にもとづいて、可変表示期間が異なる複数種類の可変表示パターンのうちから1の可変表示パターンを決定可能な可変表示パターン決定手段と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を含む演出を実行可能な演出実行手段と、

を備え、

可変表示の態様がリーチ態様となった後に特定リーチ演出が実行される特定可変表示パターンを含み、

前記特別状態は、前記非特別状態から制御された前記有利状態が終了したときに制御される第1特別状態と、所定回数の可変表示が実行されたときに制御される第2特別状態とを含み、

前記演出実行手段は、前記決定手段の決定結果にもとづいて、第1示唆演出と、該第1示唆演出が実行された場合よりも前記有利状態に制御される割合が高い第2示唆演出と、を含む複数種類の前記示唆演出を、可変表示の態様がリーチ態様となる前において実行可能であり、

前記第1特別状態における1の可変表示あたりの前記示唆演出の実行割合よりも、前記第2特別状態における1の可変表示あたりの前記示唆演出の実行割合が低く、

前記決定手段によって前記有利状態に制御することが決定されない可変表示である場合に、前記可変表示パターン決定手段が前記第2特別状態において決定する可変表示パターンの可変表示期間の平均期間は、前記第1特別状態において決定する可変表示パターンの可変表示期間の平均期間と異なり、

前記決定手段によって前記有利状態に制御することが決定された可変表示である場合に、前記可変表示パターン決定手段が前記第2特別状態において決定する可変表示パターン

40

30

50

の可変表示期間の平均期間は、前記第1特別状態において決定する可変表示パターンの可変表示期間の平均期間と異なる。

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
始動条件が成立したことにもとづいて可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

非特別状態と該非特別状態よりも前記始動条件が成立しやすい特別状態とに制御可能な状態制御手段と、

前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

前記決定手段の決定結果にもとづいて、可変表示期間が異なる複数種類の可変表示パターンのうちから1の可変表示パターンを決定可能な可変表示パターン決定手段と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を含む演出を実行可能な演出実行手段と、

を備え、

可変表示の態様がリーチ態様となった後に特定リーチ演出が実行される特定可変表示パターンを含み、

前記特別状態は、前記非特別状態から制御された前記有利状態が終了したときに制御される第1特別状態と、所定回数の可変表示が実行されたときに制御される第2特別状態とを含み、

前記演出実行手段は、前記決定手段の決定結果にもとづいて、第1示唆演出と、該第1示唆演出が実行された場合よりも前記有利状態に制御される割合が高い第2示唆演出と、を含む複数種類の前記示唆演出を、可変表示の態様がリーチ態様となる前において実行可能であり、

前記第1特別状態における1の可変表示あたりの前記示唆演出の実行割合よりも、前記第2特別状態における1の可変表示あたりの前記示唆演出の実行割合が低く、

前記決定手段によって前記有利状態に制御することが決定されない可変表示である場合に、前記可変表示パターン決定手段が前記第2特別状態において決定する可変表示パターンの可変表示期間の平均期間は、前記第1特別状態において決定する可変表示パターンの可変表示期間の平均期間と異なり、

前記決定手段によって前記有利状態に制御することが決定された可変表示である場合に、前記可変表示パターン決定手段が前記第2特別状態において決定する可変表示パターンの可変表示期間の平均期間は、前記第1特別状態において決定する可変表示パターンの可変表示期間の平均期間と異なる、

ことを特徴とする。

さらに、上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

始動条件が成立したことにもとづいて特別識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

特別識別情報の可変表示に対応して装飾識別情報の可変表示を行う装飾可変表示手段と、

装飾識別情報の可変表示の態様を特定態様とするか否かを煽る煽り演出を含む演出を実行可能な演出実行手段と、

を備え、

10

20

30

40

50

前記遊技制御手段は、

非特別状態と該非特別状態よりも前記始動条件が成立しやすい特別状態および前記有利状態を含む複数の状態に制御可能な状態制御手段と、

可変表示が実行されることにもとづいて数値情報を更新可能な更新手段と、を含み、前記状態制御手段は、

可変表示の表示結果が第1有利結果となる場合に、前記有利状態のうちの第1有利状態に制御可能であり、

可変表示の表示結果が第2有利結果となる場合に、前記有利状態のうちの第2有利状態に制御可能であり、

前記第1有利状態が終了する場合に、前記特別状態のうちの第1特別状態に制御可能であり、

前記第2有利状態が終了する場合に、前記特別状態のうちの第2特別状態に制御可能であり、

前記更新手段により更新された数値情報が特定回数に対応する特定値となることにもとづいて、前記特別状態のうちの第3特別状態に制御可能であり、

前記特別状態は、前記非特別状態から制御された前記有利状態が終了したときに制御される有利状態終了後特別状態と、所定回数の可変表示が実行されたことを条件に制御される所定回数到達後特別状態と、を含み、

前記所定回数到達後特別状態における1の可変表示あたりの前記煽り演出の実行割合は、前記有利状態終了後特別状態における1の可変表示あたりの前記煽り演出の実行割合よりも低く、

前記遊技制御手段は、

前記第1有利状態が終了する場合と、第2有利状態が終了する場合とは、いずれの場合においても、第1処理および第2処理を行い、

前記第1有利状態が終了する場合に、前記第1処理により前記第1特別状態に関する設定処理を行い、

前記第2有利状態が終了する場合に、前記第1処理により前記第2特別状態に関する設定処理を行い、

前記第1有利状態が終了する場合と、前記第2有利状態が終了する場合とは、いずれの場合においても、前記第2処理により前記更新手段が更新する数値情報の初期値を設定する設定処理を行う。

このような構成によれば、複数の状態を備える遊技機の商品性を高めることができるとともに、所定回数の可変表示を経て制御された有利状態終了後特別状態では、有利状態に制御されない期間が長く続いたことを考慮して、特定表示を表示するか否かが煽られる回数が少なくなるため、好適な有利状態終了後特別状態を提供することができるので、遊技機における商品性を高めることができる。

10

20

30

40

50